

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

<16週> 手足口病 - 熊本県で今週定点当たり報告数が3.7と多くなっている / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.4

<麻疹流行状況> 第16週の報告患者総数は753で、定点当たり報告数は0.25 / 近畿、関東で患者報告数が多くなっている



病原体情報  
P.5

感染性胃腸炎 SRSVおよびロタウイルス検出報告 / インフルエンザウイルス分離報告 / 流行性角結膜炎患者から分離されたアデノウイルス報告



IASRからの速報  
P.6

中国へ修学旅行した高校生がEHEC O157:H7など複数の下痢原性細菌に集団感染した事例の概要 - 秋田県



海外感染症情報  
P.7-8

オーストラリアの水族館に関連するレジオネラ症の流行 / ラッサ熱患者のドイツへの治療のための緊急輸送例 - 接触者のフォローアップ / 他



感染症の話  
P.9-11

淋菌感染症  
男女ともに性交や性交類似行為などにより感染し、20才前後の年齢層に多く見られる性感染症



読者のコーナー  
P.12



グラフ総覧(16週)  
P.13-19

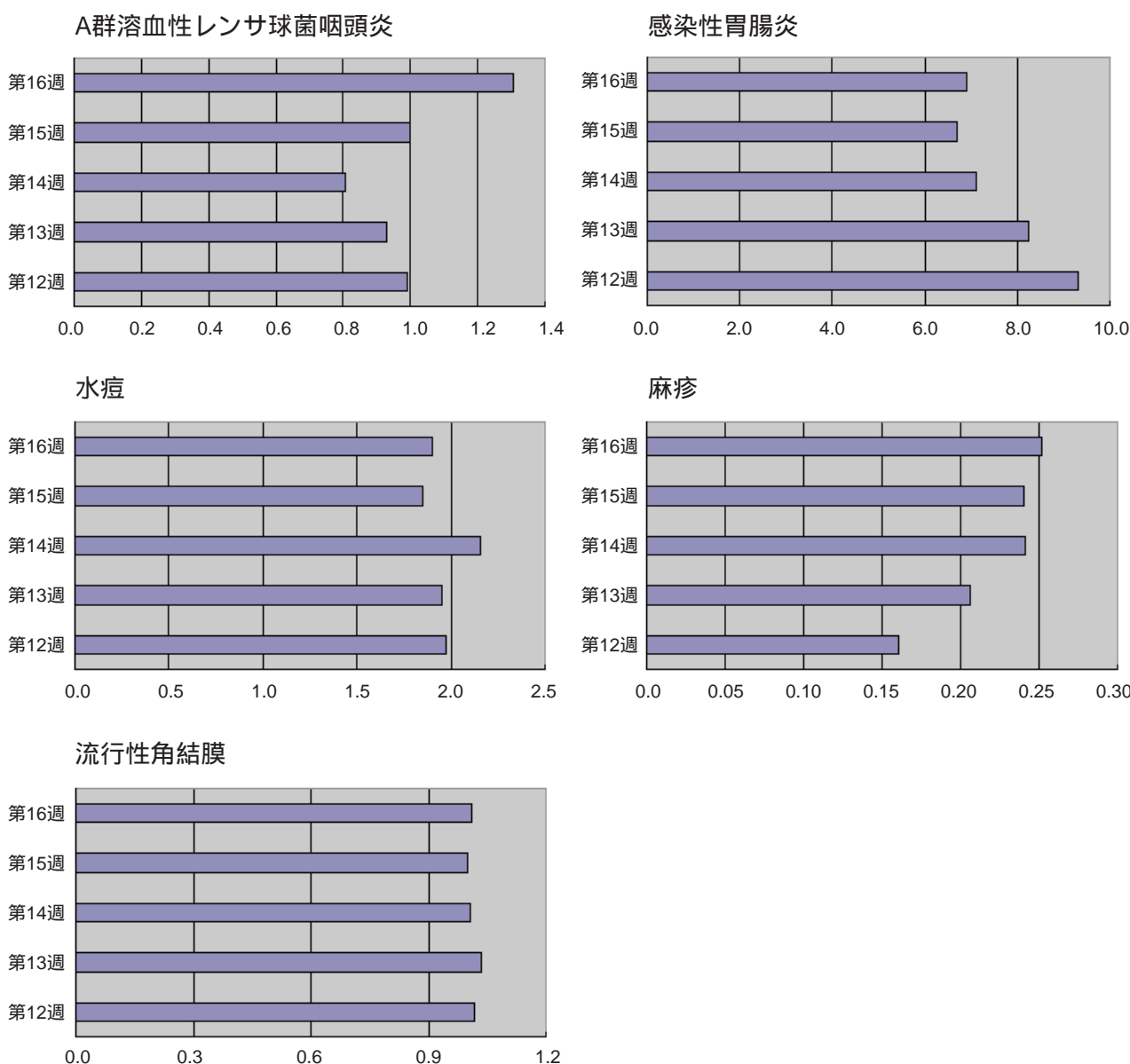


16週のデータ  
P.20-27



## 最近の注目疾患-5週間の動き

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は2週続けて定点当たり患者数が増加した。感染性胃腸炎はこのところ4週続けて定点当たり報告数が減少していたが、今週は前週とほぼ同じ定点当たり報告数であった。水痘の定点当たり報告数はほぼ横ばいである。麻疹患者の定点当たり報告数は依然緩やかな増加傾向にある。麻疹は既に流行期に入っており、連休明けにかけ患者数の増加が予想されるので、疾患の動向に注意が必要である。流行性角結膜炎の定点当たり報告数はほぼ横ばいである。



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



# 注目すべき感染症

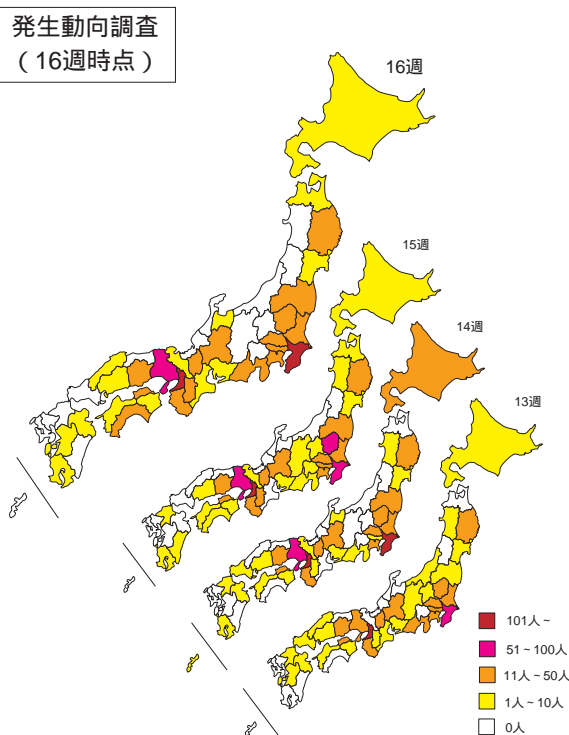
## 麻疹流行状況

2000年第16週(4月17日～4月23日)の、全国定点医療機関からの麻疹報告患者総数は753で、定点当たり報告数は0.25である。2000年第1週からの累積患者数は6,071、性別内訳は男3,307、女2,764とやや男性に多い。年齢階級別では1歳未満839(うち6ヶ月以下89)、1歳1,801、20歳以上92となっている。1999年4月より施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下新法)」によれば、小児科定点から報告される麻疹患者は18歳未満の小児であるが、小児科を受診する成人麻疹患者もあり、実際はこれらの症例が小児科定点を通じて報告されている。

新法では別に「成人麻疹」という項目を設けてサーベイランスを行っているが、これらの症例は基幹病院定点からの報告であり、多くは入院を要するような比較的重症例であると考えられる。2000年第1週からの成人麻疹累積患者数は65で、第13週以降報告数が急増している。年齢階級別では、～19歳19、20～24歳24、25～29歳12、30～34歳8、35～39歳1、40～44歳1となっている。

今年の麻疹流行曲線(16ページグラフ総覧、麻疹参照)をみると、過去10年間と比較して特別大きな流行ではないが、95、97、98、99年より定点当たり報告数が多くなっている。例年麻疹患者の報告数は5月の連休明けにピークに達するので、今後も患者数が増加すると考えられる。現在のところ、都道府県別では、以下の地図グラフで示すように、大阪府、千葉県、兵庫県、和歌山県、岩手県、岐阜県、栃木県、茨城県、など近畿・関東で患者報告数が多くなっている。

基幹病院定点より報告される4類感染症の病原体報告によると、2000年第16週までに急性脳炎から麻疹ウイルスの分離が1件、クラミジア肺炎と診断された症例から麻疹ウイルスの分離が1件報告されている。成人麻疹の患者から分離されたウイルスは、麻疹ウイルス35件、風疹ウイルス1件、その他病原体2件であった。





# 病原体情報

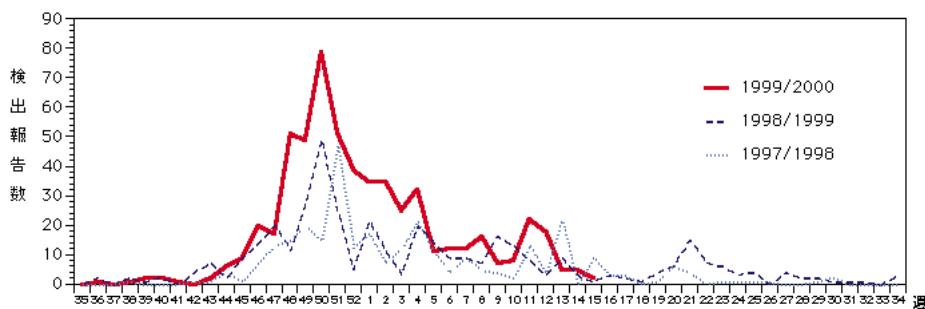
## 感染性胃腸炎 1999/2000シーズン\* SRSVおよびロタウイルス 検出報告( 2000年5月2日現在報告分 )

今シーズンのSRSV検出総数は575件で、検出報告数は1999年第50週をピークに減少中である。ロタウイルスの検出報告は、現在のところ2000年第8、9週にピークが見られている。今シーズンのロタウイルス検出総数は379件で、2000年に入って大阪府、奈良県、新潟県、香川県、大阪市などから計334件の検出報告があった。

\*1999/2000シーズンは1999年第35週( 8/29-9/4 )から。

週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較( 1997/1998、1998/1999、1999/2000 )

(病原微生物検出情報: 2000年5月2日現在報告数)



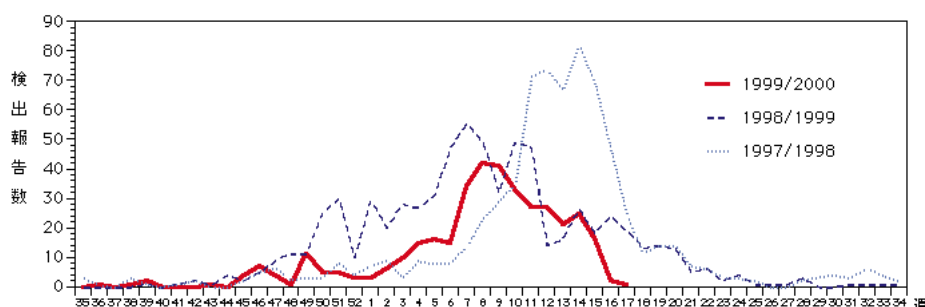
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較( 1997/1998、1998/1999、1999/2000 )

(病原微生物検出情報: 2000年5月2日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



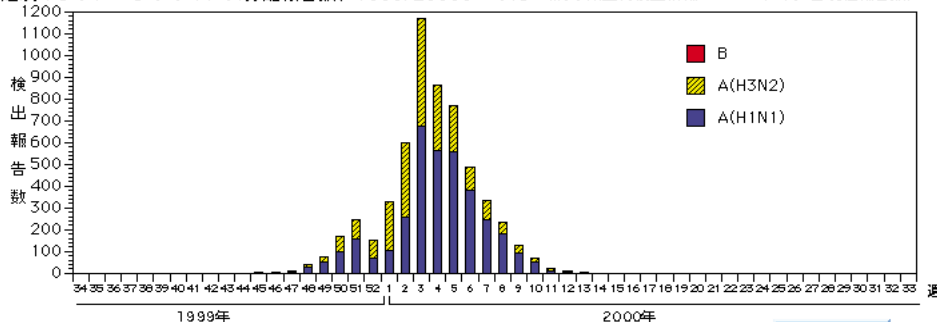
Infectious Agents Surveillance Report

## インフルエンザ 1999/2000シーズン\*( 2000年5月2日現在報告分 )

病原微生物検出情報事務局に入ったインフルエンザ分離報告をまとめると、A/香港型ウイルス( H3N2 )は2,191、A/ソ連型ウイルス( H1N1 )は3,548とソ連型の分離が多くなっている。今シーズンのB型分離報告は広島県、福岡市、仙台市、大阪市、奈良県より1件ずつ計5件である。B型は3月18日( 奈良県 )、A/ソ連型は3月30日( 香川県 )、A/香港型は4月6日( 仙台市 )の分離が最後で以後報告がない。

\*1999/2000シーズンは1999年第34週( 8/22-8/28 )から。

週別インフルエンザウイルス分離報告数、1999/2000シーズン (病原微生物検出情報: 2000年5月2日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

## 流行性角結膜炎患者から分離されたウイルス

2000年( 2000年5月2日現在報告分 )

岡山県からアデノウイルス4型が2件( 第2週、5週 )、神奈川県からアデノウイルス19型が1件( 第2週 )の分離報告があった。

## 中国へ修学旅行した高校生がEHEC O157:H7など複数の下痢原性細菌に集団感染した事例の概要 - 秋田県

秋田市内の高校生が1998年4月に中国へ修学旅行し、腸管出血性大腸菌(EHEC) O26や *Salmonella Albany*等に感染した事例の概要を病原微生物検出情報( IASR )Vol.19、No.10に報告した。

同高校は1999年10月14日～10月19日に再び中国への修学旅行を実施し、生徒がEHEC O157:H7など多種類の下痢原性細菌に感染したため、その概要について報告する。

10月21日、中国修学旅行に参加した秋田市の高校の生徒が18日から腹痛、下痢等の食中毒症状を呈した。患者糞便が当衛生科学研究所に送付され、翌22日、当該患者がETEC O167(LT+)およびEAggEC OUTに感染していることが判明した。秋田市保健所の調査により修学旅行参加者420名中208名(生徒199名、引率等9名)が食中毒症状を呈していたことが判明し、同保健所は本事例を集団食中毒と判断し、有症者206名の検便を22日に当所に送付した。

送付された便検体からは、EHEC O157:H7(VT2+, eaeA+)が6名から検出された他、血清型と保有病原遺伝子がそれぞれ異なるEAggECが27名、ETECが12名、AEECが28名から分離された。また、4種類のサルモネラが計8名、カンピロバクターが1名から分離された。なお、EHEC O157:H7感染者の家族は全てEHEC O157:H7陰性であった。

分離されたEHEC O157:H7 6株には異なる2種類のXbaI PFGEパターンを示す株がみられた。また、分離株のパターンには、県内で分離されたEHEC O157:H7のパターンと比較して、約400Kbの領域のバンドが少ないという特徴がみられた。

発症時期などから、患者は中国において感染したものと推定された。EHEC O157:H7感染者の家族に感染者がみられなかったこともこの可能性を裏付けるものと考えられた。一方、本事例の特徴は多種類の菌が同一集団から検出されている。前年と同じ高校が再び実施した中国修学旅行により集団食中毒が発生したこと、および今回は生徒からEHEC O157:H7が検出されたことなどから、今後、衛生状態の悪い地域への修学旅行を実施する際には感染予防のための適切な指導がなされることが望まれる。

秋田県衛生科学研究所

八柳 潤 齊籐志保子 伊藤 功 佐藤宏康 宮島嘉道

(病原微生物検出情報5月号-IASR vol.21 No.5, 2000-掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



## 海外感染症情報

### オーストラリアの水族館に関連するレジオネラ症の流行

WHO/CSR 2000年5月4日

オーストラリア、ビクトリア州政府公衆衛生部は、2人の死亡例を含む66例のレジオネラ症患者を確認した。1名を除く全員が4月11日以降メルボルンの水族館を訪れていた。検査では全例にレジオネラ菌血清型1が検出されている。この他にも水族館を訪れ、呼吸器症状を呈している検査結果待ちの多くの患者がいる。また検査では水族館の冷却塔でもレジオネラ菌が確認され、すぐに除菌された。保健当局では、情報の提供と流行の調査継続のためにレジオネラ症ホットラインを設置した。

### ラッサ熱患者のドイツへの治療のための緊急輸送例 - 接触者のフォローアップ

Eurosurveillance Weekly 2000年4月27日

2000年3月に57歳のナイジェリア人が発熱、下痢、全身倦怠感でナイジェリアの病院に入院した。次の2週間で病気の状態が悪化し、神経症状が出現したため、首都Abujaの関連病院に移された。3月27日に医療救援チームによりドイツに緊急輸送され、WiesbadenのHorst-Schmidt病院の神経科に入院した。入院時、頸部硬直を伴った見当識障害や痙攣の徴候を示した。徐々に改善が見られていたが、突然心不全、呼吸不全が出現した。直ちに行われた心肺蘇生に反応せず、肺塞栓疑いで死亡した。

血清検体は3月31日にBernhard-Nocht研究所に送られ、4月2日に西アフリカで流行している熱帯ウイルス疾患のスクリーニングが行われた。IgMとIgGの特異抗体価が高かったことでラッサウイルス感染が確認された。ウイルスの核酸は脳脊髄液のPCRで検出されたが、血清では検出されなかった。ウイルスはナイジェリア型のラッサウイルスに属すると同定された。

後から考えると、患者が最初入院するきっかけとなったのは、ラッサウイルス感染の症状で、ウイルス性脳炎を合併したことによるものであった。脳脊髄液の所見からは、脳炎もまたラッサウイルスによって引き起こされたことが示唆されるが、患者が死亡する前に神経学的な症状の改善がみられたのでラッサウイルス感染は予想外のことであった。

医療スタッフは患者および患者の体液に曝露されているので、2次感染の可能性はわずかながら存在した。接触者の血清検体からはPCR法によってウイルスは見つからなかった。医療スタッフの中の接触者19人が感染の徴候がないか追跡されたが、2次感染は確認されなかった。遺体の棺は亜鉛で密封され、故郷の町に輸送された。

### コソボにおける野兎病( ツラレミア ) - 更新

WHO/CSR 2000年4月27日

PristinaのInstitute of Public Health( IPH )では、野兎病感染疑い例699名と検査での確認例56名を特定した。問題は拡大し、全国の大部分の市が症例を報告している。サーベイランスが全土にわたって実施されている。

野兎病の確認検査可能な検査施設が国際協力チームの援助によりIPHに設置された。IPHと国際協力チームが共同で新たな患者の発見と疫学調査を実施している。感染源を明らかにするため検査検体が採取され、世帯レベルまで系統的な症例対照研究が実施されている。環境からの検体採取も行われている。

### メッカ巡礼( Haj )に関連した髄膜炎菌感染症

WHO/CSR 2000年4月26/27日、CDC( MMWR ) 2000年4月28日

米国

4月20日までに、3名のW135群髄膜炎菌による患者が確認されたことをニューヨーク市感染症プログラムは報告した。1人目の患者はメッカ巡礼の帰国者で4価の髄膜炎ポリサッカライドワクチン( A,C,Y,W135 )を接種していた。また2人目の患者は巡礼の帰国者と接触があった家族である。3人目の患者はメッカ巡礼に参加しておらず、メッカ巡礼者と密接な接触があったかは明らかでない。合衆国では、W135群は髄膜炎菌感染症散発例のわずか3～4%に過ぎない。

サウジアラビア - 更新

先月以来死者57名を含む患者総数が225名に更新された。検査により現在A群髄膜炎菌54件、W135群50件、およびB群1件が確認された。

オランダ - 更新

W135群髄膜炎菌による患者2名が確認され、死者1名を含む2名の疑い( probable )患者が報告された。

WHO/CSR 2000年5月3日

シンガポール

4例の髄膜炎菌感染症患者在報告された。

インドネシア

6例の死亡例を含む14例の髄膜炎菌感染症患者在報告された。検査によりB群髄膜炎菌が1例確認された。

モロッコ

3例の髄膜炎菌感染症患者在報告された。検査によりW135群髄膜炎菌が1例、C群髄膜炎菌が1例確認された。





# 感染症の話

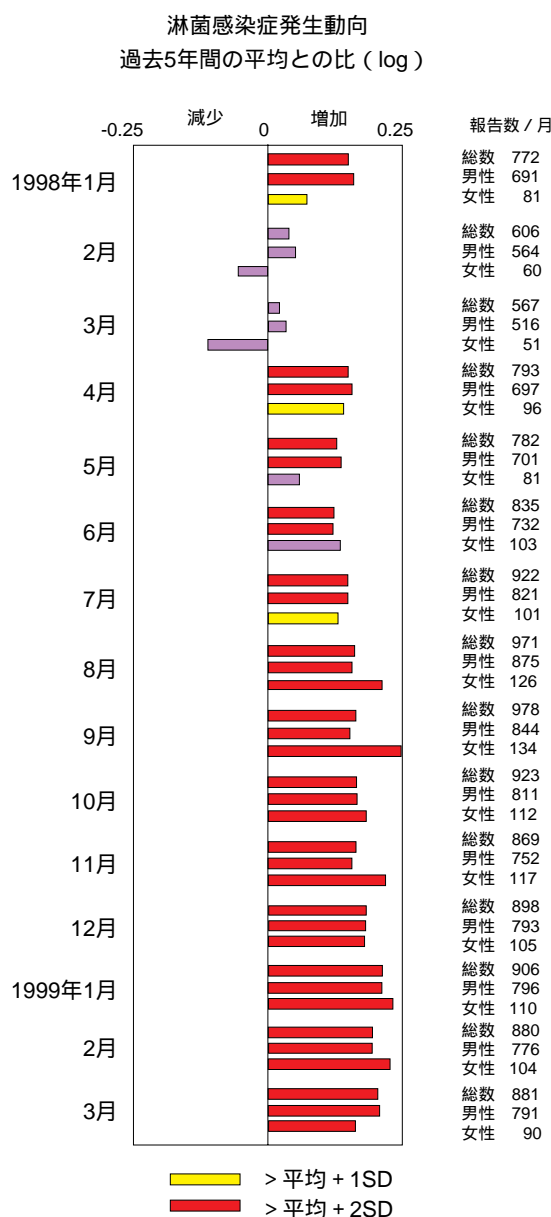
## 淋菌感染症

淋菌感染症は、淋菌 *Neisseria gonorrhoeae* (gonococci) の感染による性感染症である。淋菌は弱い菌で患者の粘膜から離れてから数時間で感染性を失い、日光、乾燥や温度の変化、消毒剤で簡単に死滅するので、性交や性交類似行為以外で感染することはまれである。

### 疫学

淋菌感染は最近増加している。

淋菌は世界中に存在しており、20才前後の年齢層に感染者が一番多い。米国の淋菌感染症は、CDCの報告によると (Sexually Transmitted Disease Surveillance 1997 [http://www.cdc.gov/nchstp/dstd/Stats\\_Trends/1997\\_Surveillance\\_Report.pdf](http://www.cdc.gov/nchstp/dstd/Stats_Trends/1997_Surveillance_Report.pdf)) 性感染症対策の成果として1975年以来減少を続けてきたが、1996年から減少が横這いとなり98～99年にかけて一部の地域で増加に転じている。我が国でも1985年以降のエイズ啓発活動により顕著にその症例数が減少していたが、最近の感染症発生動向調査によると (<http://idsc.nih.go.jp/kanja/backnumber.html>) 98年4月以降連続して増加傾向にある。なお報告数の女性の数が男性より極端に少数なのは、女性は自覚症状に乏しく受診の機会が少ないことも要因の一つであると考えられる。また最近の疫学的研究によれば、淋菌感染によりHIVの感染が容易になると報告されている。



当該月と過去5年間の平均 (過去5年間の前月、当該月、後月の合計15月の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を越えた場合黄で、2標準偏差を越えた場合赤で色分けしている。

### 病原体

淋菌感染症は淋菌 *Neisseria gonorrhoea* (gonococci) の感染による性感染症である。

淋菌と似た菌に髄膜炎菌 *Neisseria meningitidis* (meningococci) があり、DNA 相同性は70% である。両菌種ともヒトに病原性がある。ナイセリアは直径0.6～1 μm のグラム陰性双球菌で、腎臓形をした球菌はそれぞれがくぼんだ面で接している。両菌種は感染後発症した臨床症状に著しい相違がある。淋菌は尿路性器感染症を、髄膜炎菌は上気道に感染した後に中枢神経感染症(髄膜炎)をおこす。

確定診断には菌の培養と同定検査を要する。淋菌は弱い菌で患者の粘膜から離れてから数時間で感染性を失う。日光、乾燥や温度の変化、消毒剤で簡単に死滅するので、後述するように分離培養が必要な場合には検体の取り扱いには注意を要する。従って、性交や性交類似行為以外で感染することはまれである。

### 臨床症状

男性は淋菌性尿道炎を呈し、女性は子宮頸管炎を呈する。

男性の尿道に淋菌が感染すると、2～9日の潜伏期を経て例外なく膿性の分泌物が出現し、排尿時に疼痛があるので受診のきっかけとなり、治療へ結びつく。女性では男性より症状が軽く無自覚のまま経過することが多く、上行性に炎症が波及していくことがある。米国ではクラミジア感染症と共に、骨盤炎症性疾患、卵管不妊症、子宮外妊娠、慢性骨盤痛の主要な原因となっている。その他、咽頭や直腸の感染では無自覚のことが多く、これらの部位も感染源となる。何回でも反復して感染することがある。

### 病原診断

前述したように、淋菌は死滅し易いことなどから検体の取り扱いには注意が必要である。

死菌からでも検出可能でかつ迅速に検査結果が得られる検査法(酵素免疫法)が、キットとして市販されている。これらの検査法や淋菌遺伝子を検出する方法は、患者診断の補助として用いられている。いずれも高感度に検出できるが、検体の採取部位や採取法によっては的確な結果が得られないこともあるのでキットの仕様書を遵守することが必要である。菌の耐性検査を行う場合は分離培養による菌の確保が必要である。

男性尿道分泌物や女性頸管分泌物などの検体採取はカルチャーレット(淋菌・百日咳菌等に適した市販検体輸送セット)で行い、乾燥や温度変化を避けて保存や輸送を行う。検体採取後直ちに培養を行わない場合には、この操作は必須である。尿はそのまま室温にて迅速に検査室へ輸送する。淋菌検体は採取した日に分離培養することが原則で、長時間放置してはならない。培養にはマーチン・ルイス寒天培地、サイヤー・マーチン培地またはチョコレート寒天培地などを用い、37.5～10%の炭酸ガス孵卵器内で行う。同定は、培養後にグラム染色をして菌の形態観察やオキシターゼ陽性、共同凝集反応、免疫蛍光染色などを行い決める。特に生殖器以外からの分離菌は、菌種の同定を行う。

血清診断法は有用でない。

### 治療・予防

耐性菌が増えている。

治療として、スペクチノマイシン(筋注)、セフィキシム(経口)、オフロキサシン(経口)、ピブラマイシン(経口)等が用いられている。セフトリアキソン(静注)も有効であるが、我が国では目下のところ健康保険の適応とはなっていない。近年、ニューキノロン系薬剤に対して感受性の低下が著しくなっている。予防対策としては、危険性の高い集団への教育及び患者とその接触者を発見し早期診断と治療を行うことである。また性的接触時にはコンドームを使用することがすすめられる。

### 感染症新法の中での淋菌感染症の取り扱い

淋菌感染症は、第4類の定点把握疾患に定められており、患者定点として選定された医療機関は月単位にて保健所に届け出ることとなっている。報告のための基準は、以下の通りとなっている。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの。

- ・病原体の検出

例:(男性の場合)尿道性器から採取した材料からの検鏡・培養、蛍光抗体法など

- ・病原体の抗原の検出

例:尿道性器から採取した材料からの酵素抗体法による検出など

- ・病原体の遺伝子の検出

例:尿道性器から採取した材料からの核酸検出法による検出など

(国立感染症研究所 細菌部 芳賀伸治)



## 読者のコーナー

従来の血清診断では診断がつきにくい型のレプトスピラについて教えてください。

### 国内で分離されている新しい型のレプトスピラに関する情報

レプトスピラ症はレプトスピラ保有動物(主にげっ歯類)の尿によって汚染された水を浴びたり、動物への直接接触によって感染する人獣共通感染症でありワイル(Weil)病とも呼ばれる。1999年5月より、本邦ではこれまで報告の無かったレプトスピラ種が、複数の患者検体より分離されてきている。いずれの患者も渡航歴が無いことから、国内での感染が疑われている。

分離されているレプトスピラ *Leptospira meyeri* は、以前より本邦での流行株として知られている *Leptospira interrogans* とは種・血清型が異なる。そのため、*Leptospira interrogans* 感染例では、感染早期を除き、既存の検査試薬を用いることで血清診断することが可能であったが、問題となる *Leptospira meyeri* 感染の場合には、これら血清診断では偽陰性となり、レプトスピラ症と診断されない可能性が高い。

臨床症状は悪寒、発熱、頭痛、下肢などの筋肉痛、眼球結膜の充血などで発症し、第4~5病日に黄疸が出現することも多い。臨床症状からレプトスピラ症が疑われるが、既存の血清診断で陰性あるいは反応が弱い場合で、問診において、以下のような感染の機会が多い環境に接した既往歴がある場合には当該菌によるレプトスピラ症を疑う必要がある。

既往例：農業、鉱業、下水処理、工事、飲食業、食品加工業など、レプトスピラに汚染された水に直接・間接的に接触する機会が多い場合。保菌動物と濃厚に接触する機会がある場合(保菌動物を飼育しているもの、若しくはこれを売買するもの、動物病院などでの従事者等)。

一般にレプトスピラの分離に使われるコルトフ培地、EMJH培地を使用することで、当該菌も分離することが可能である。

レプトスピラ症に関する情報・相談は下記で受け付けており、分離用培地の分与、および *Leptospira meyeri* に対する抗体価検査が可能である。

連絡先：国立感染症研究所・細菌部 渡辺治雄、川端寛樹  
電話：03-5285-1111 内線2201(渡辺)、2224(川端)  
ファックス：03-5285-1163  
電子メール：haruwata@nih.go.jp, kbata@nih.go.jp

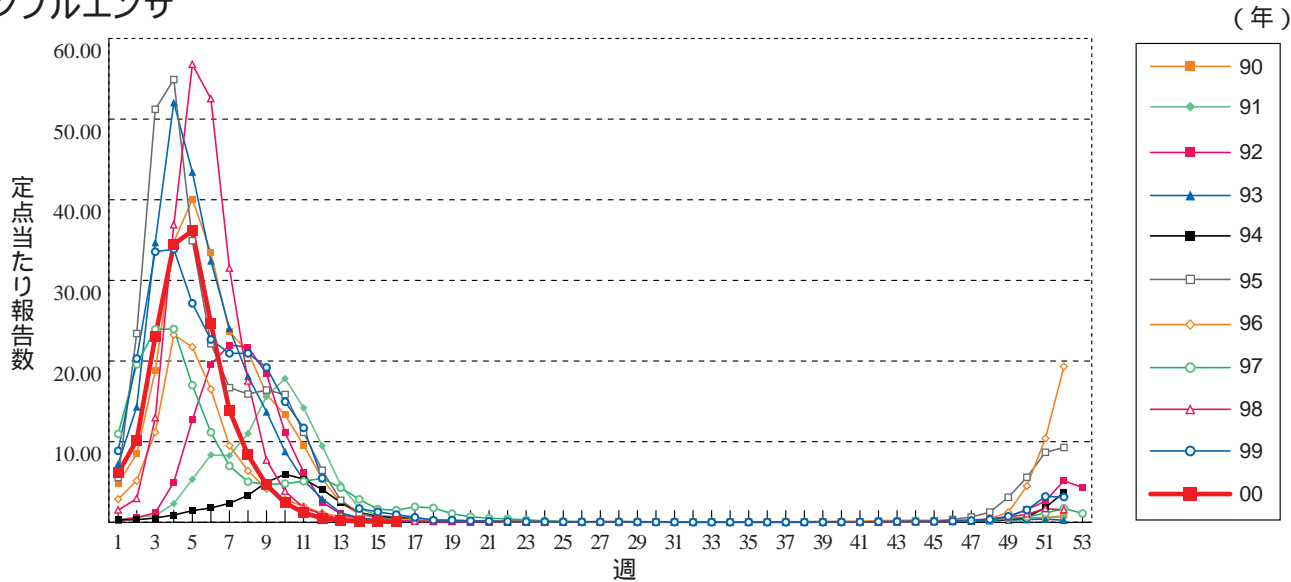
\*\*\*\*\*

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

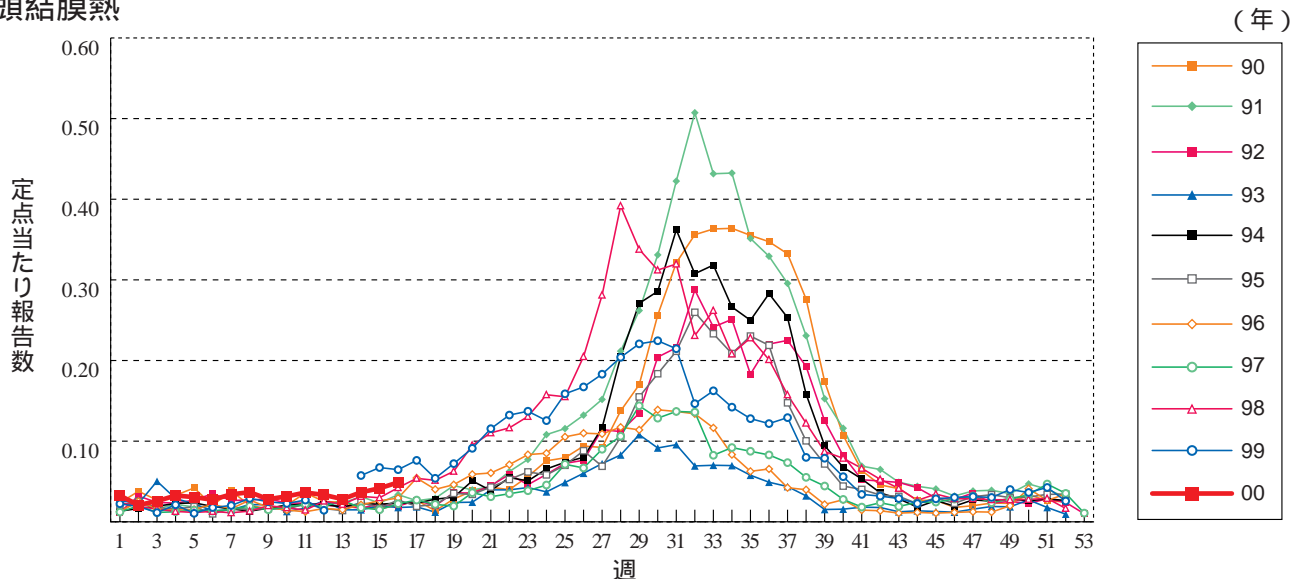
[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

**グラフ総覧(16週)**

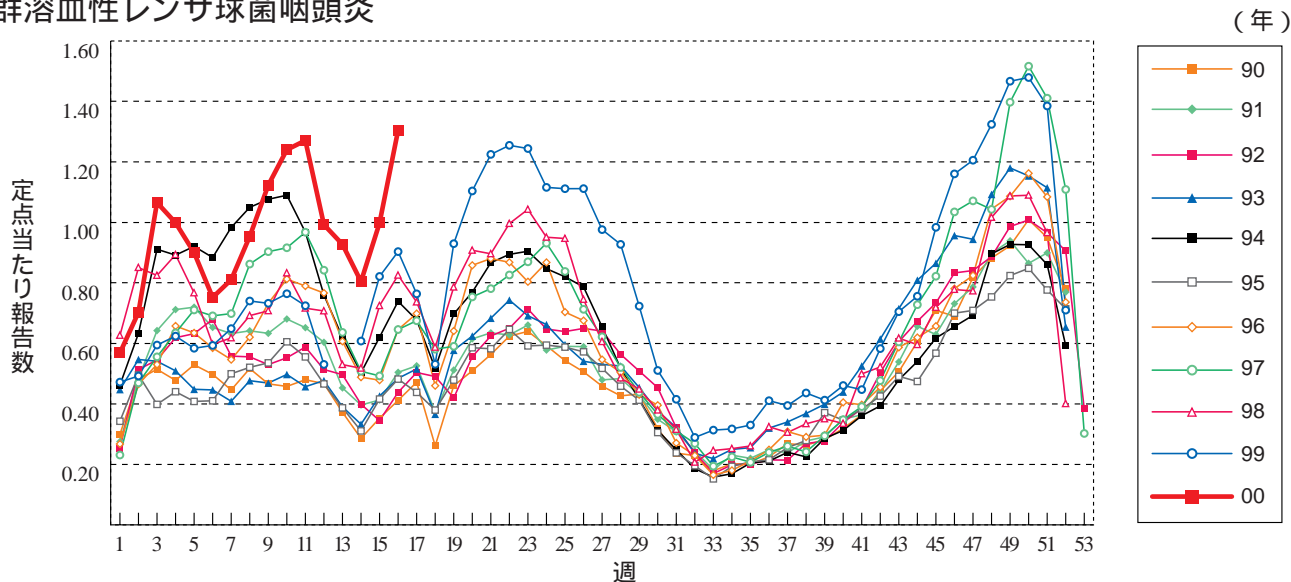
**インフルエンザ**



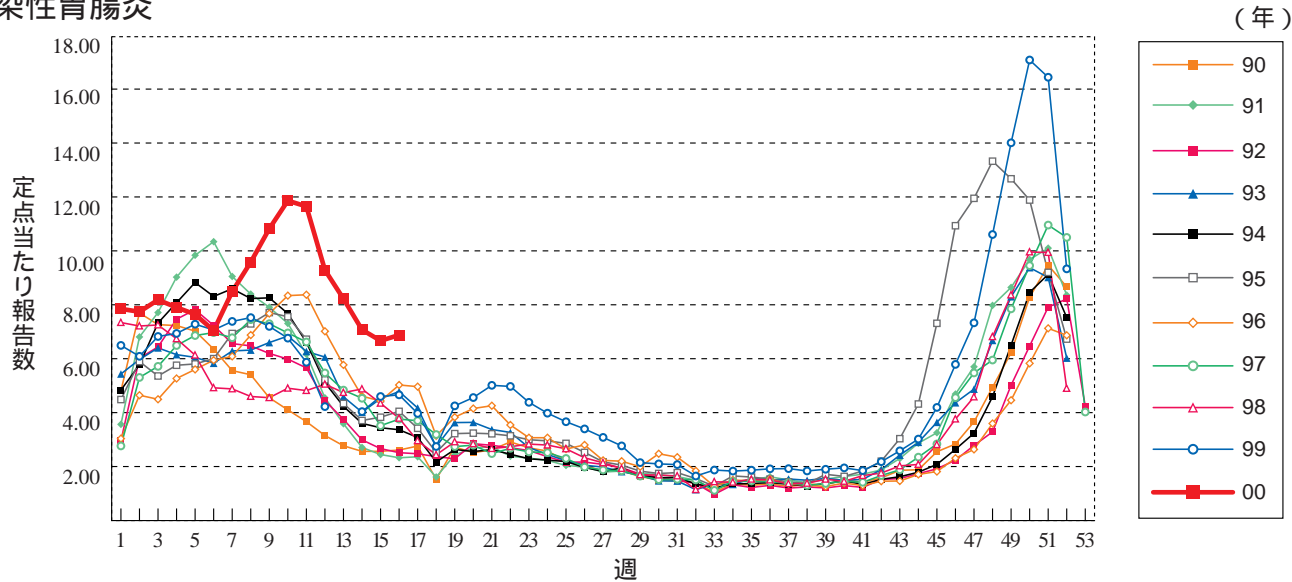
**咽頭結膜熱**



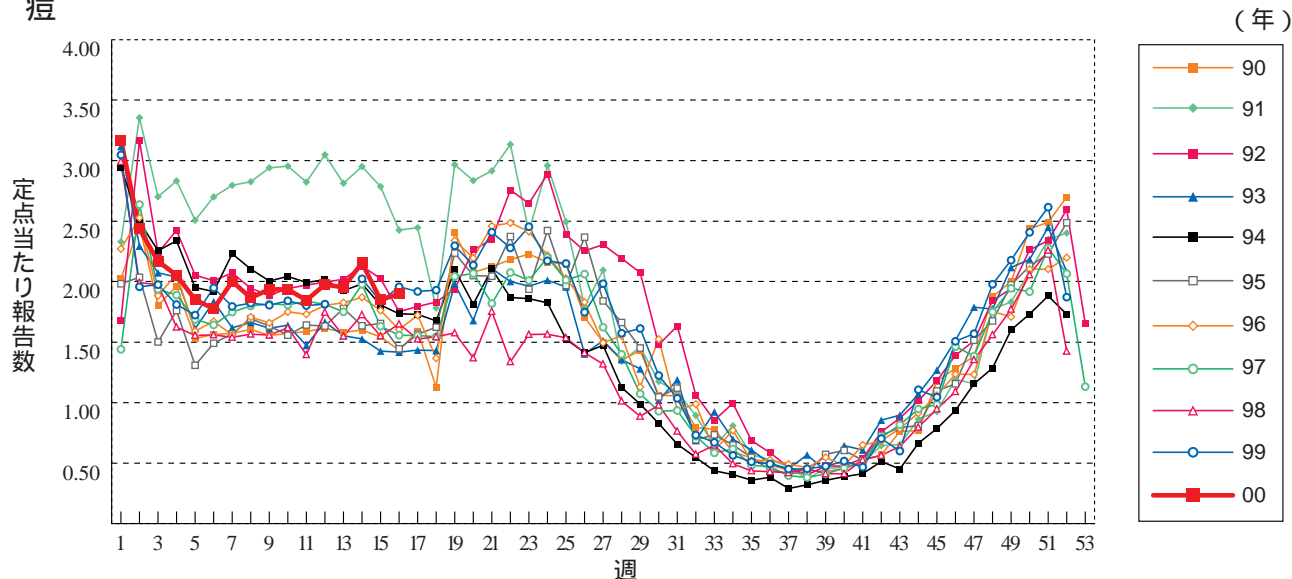
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



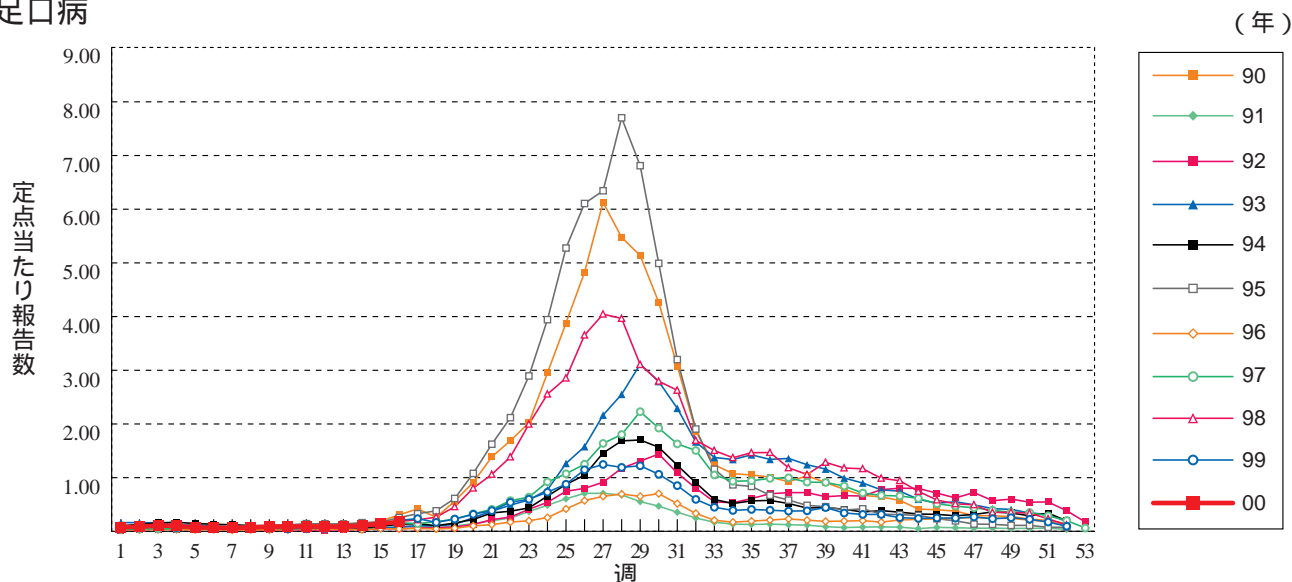
感染性胃腸炎



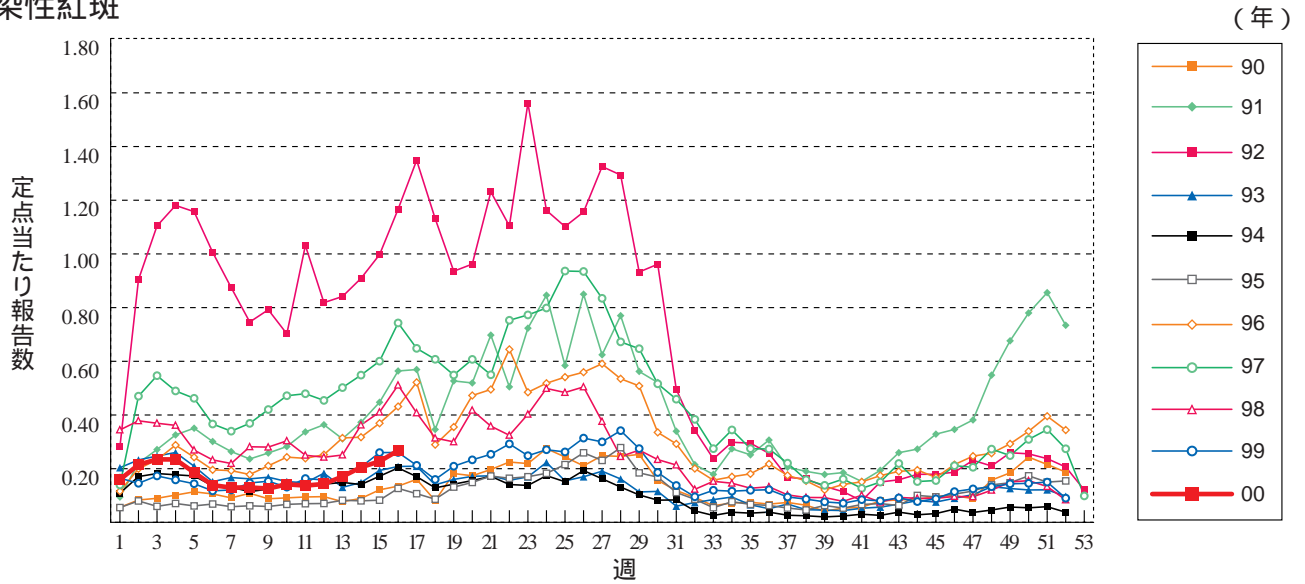
水痘



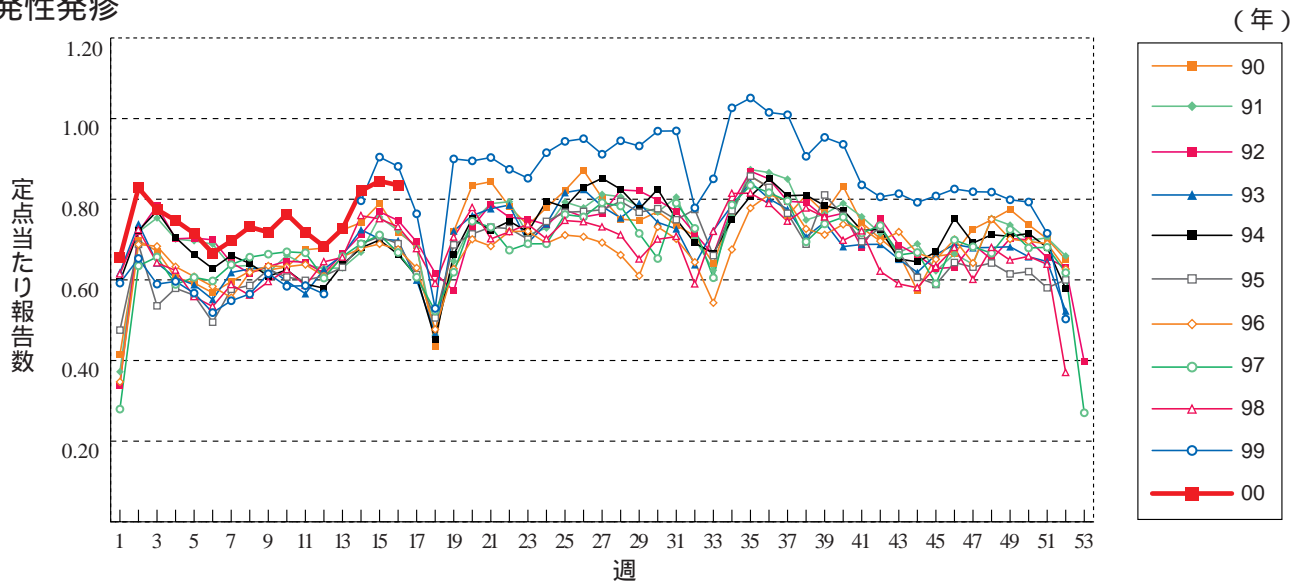
手足口病



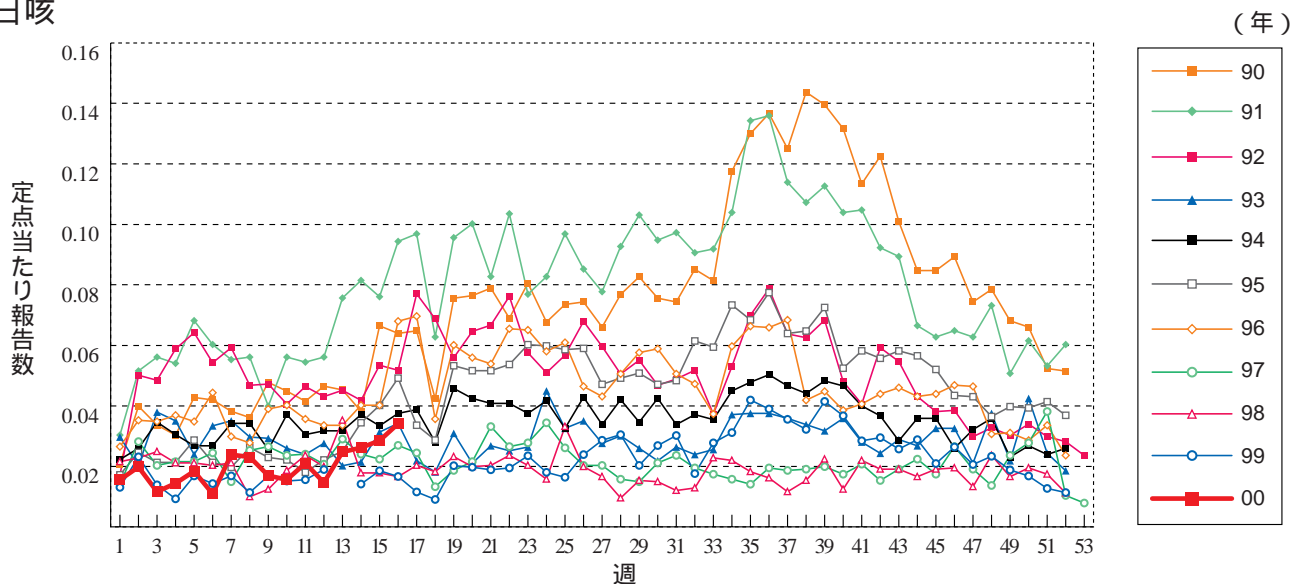
伝染性紅斑



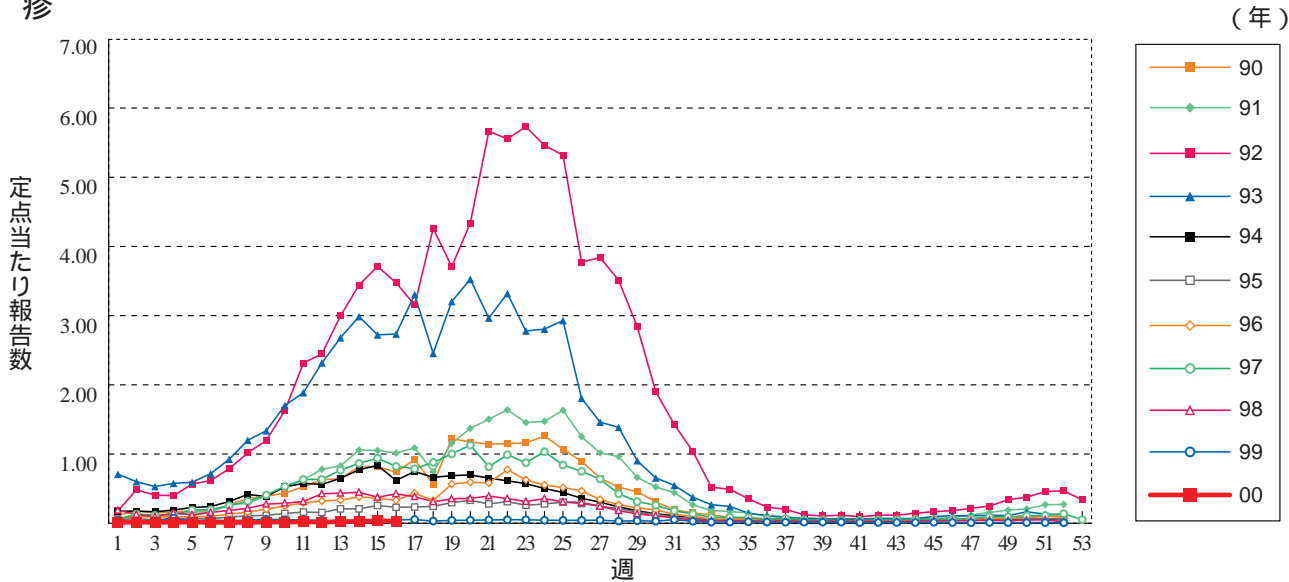
突発性発疹



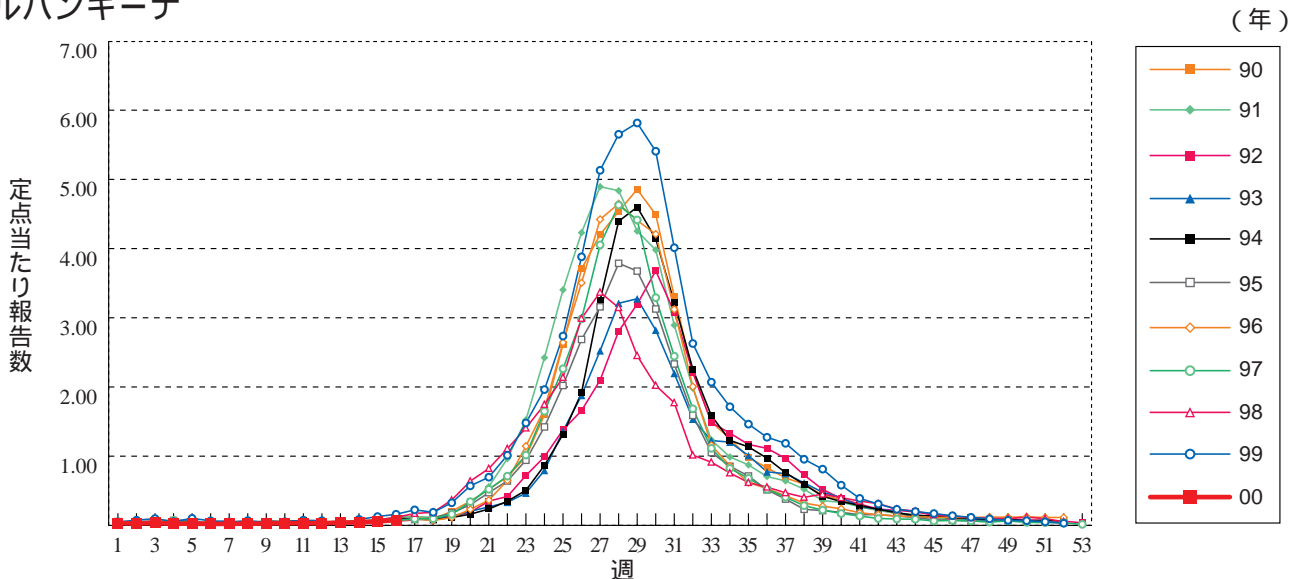
百日咳



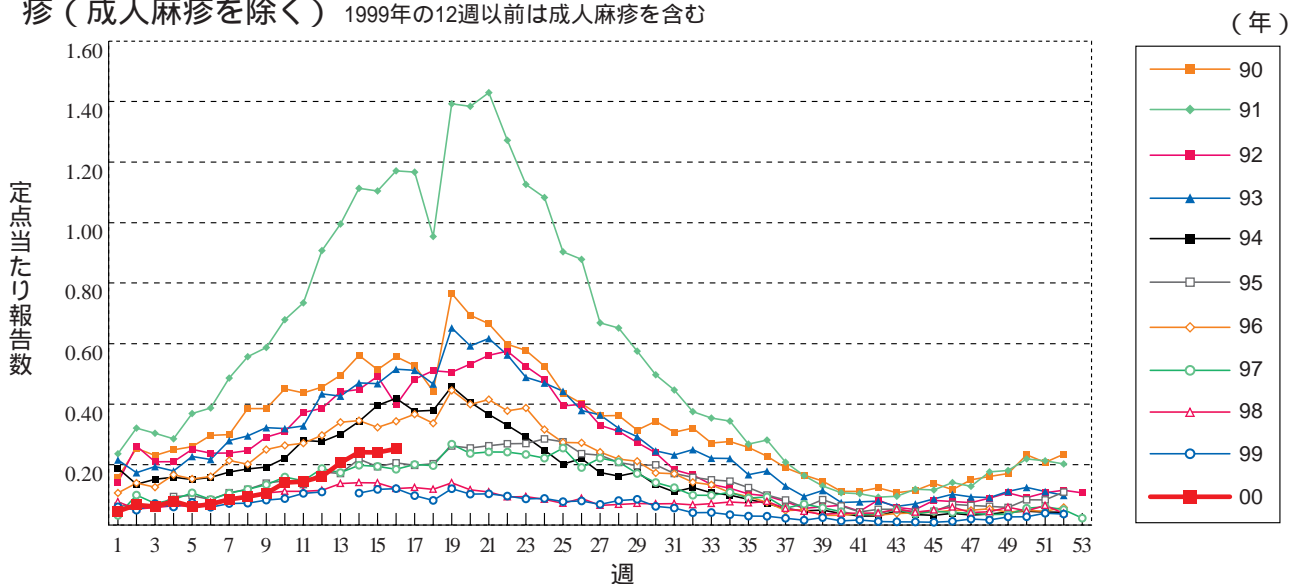
風 疹



ヘルパンギーナ

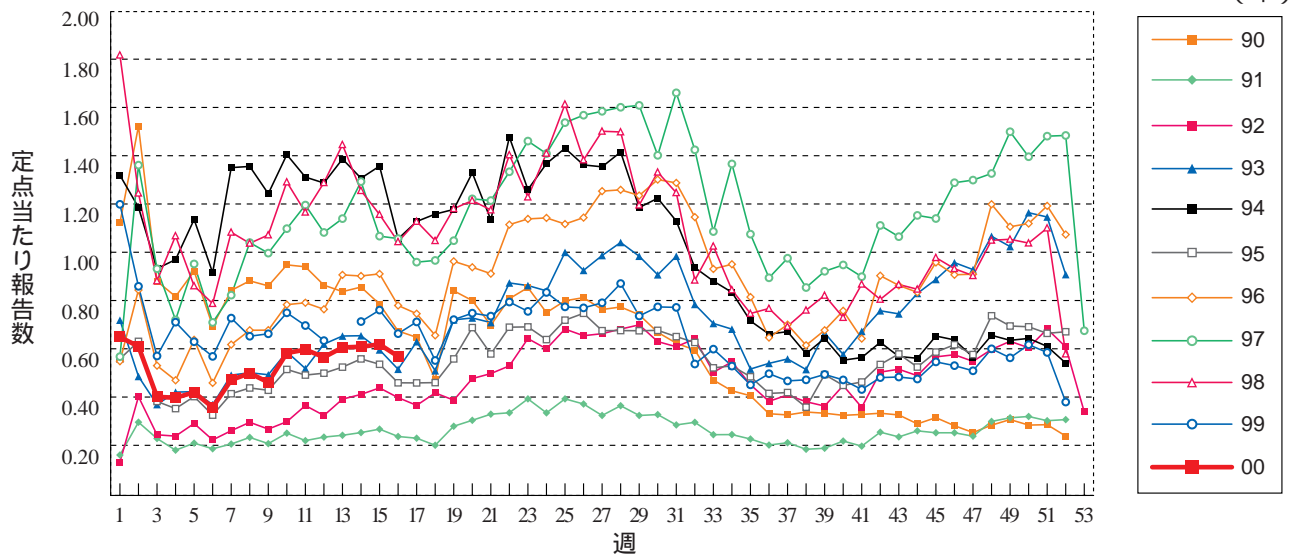


麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む

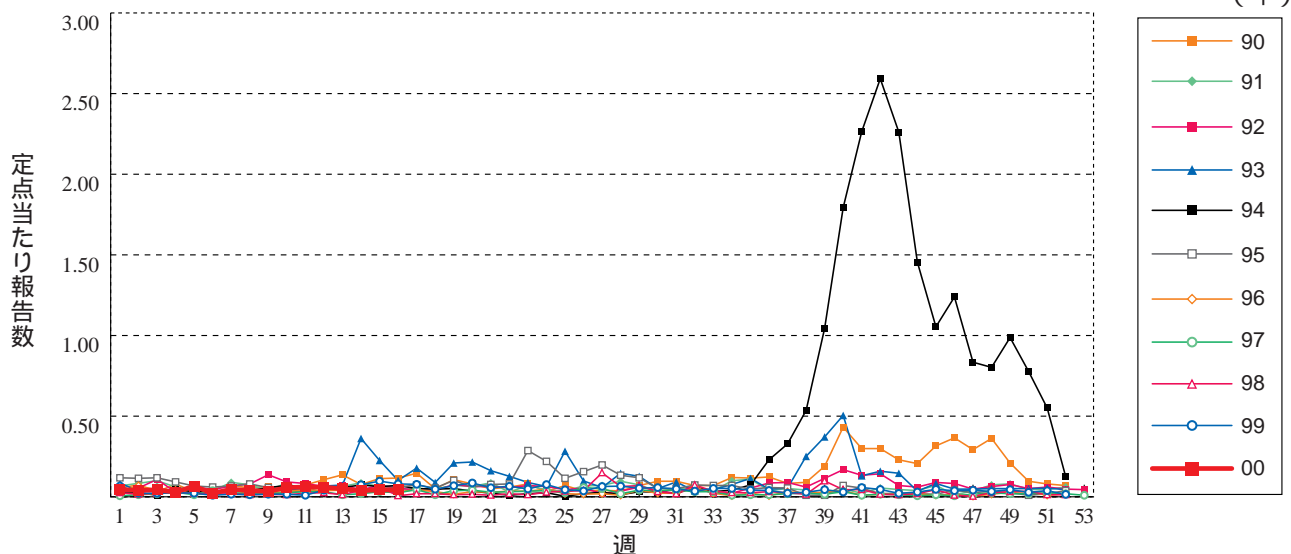




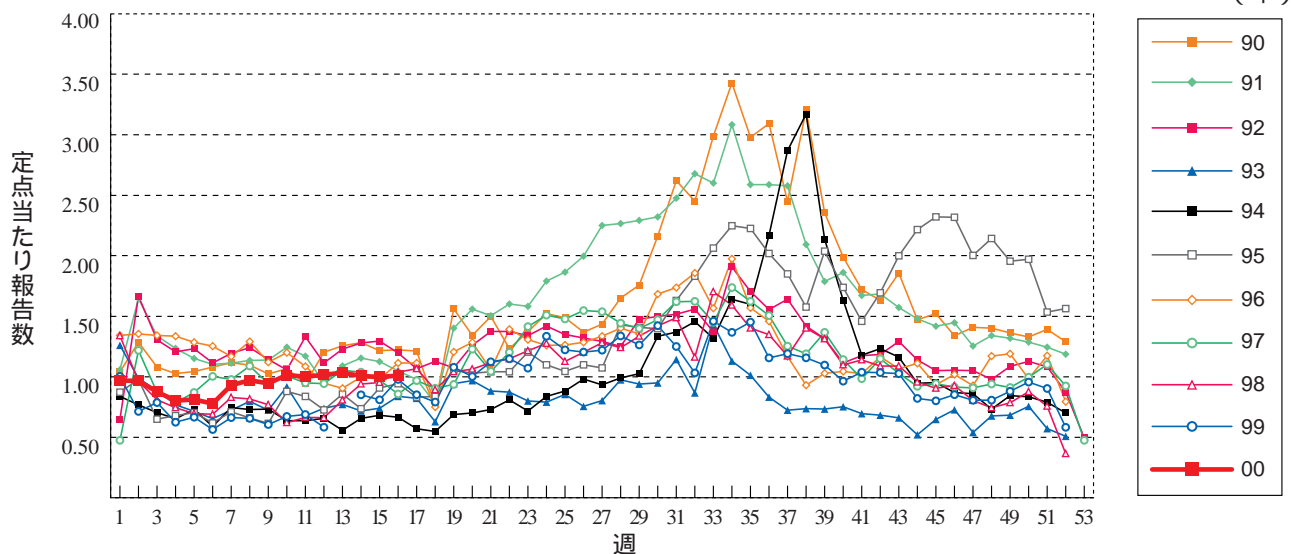
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

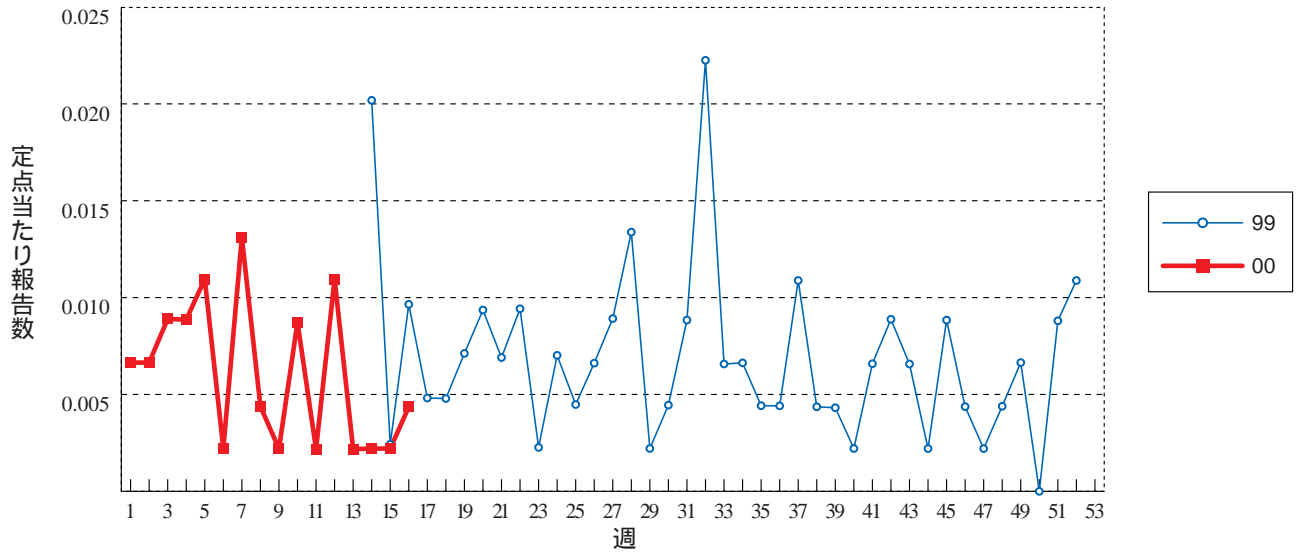


流行性角結膜炎



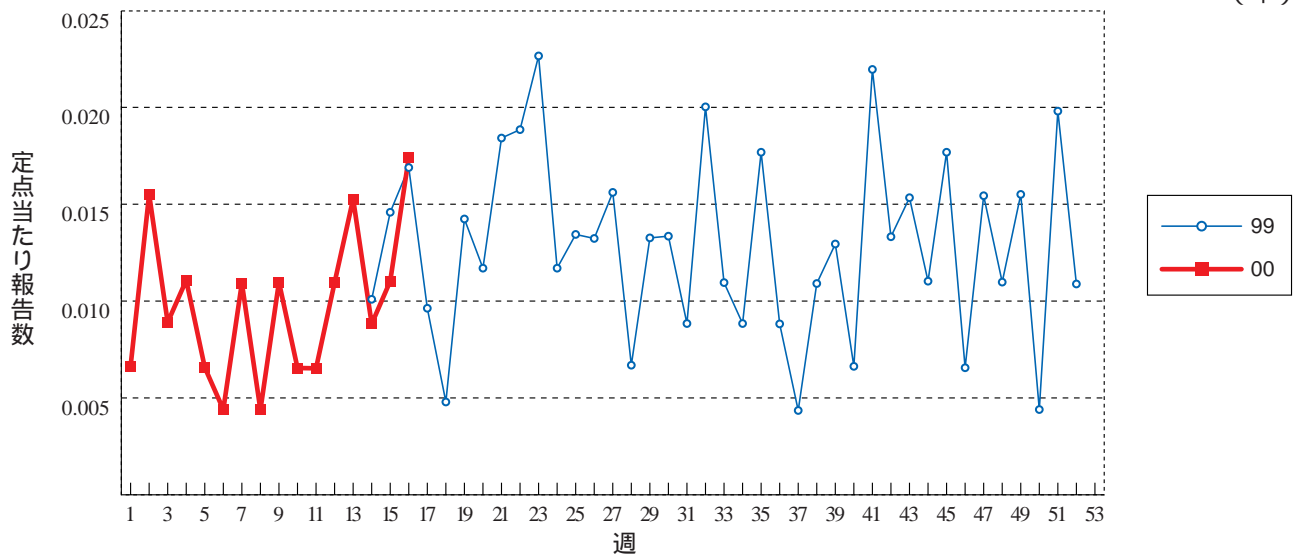
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



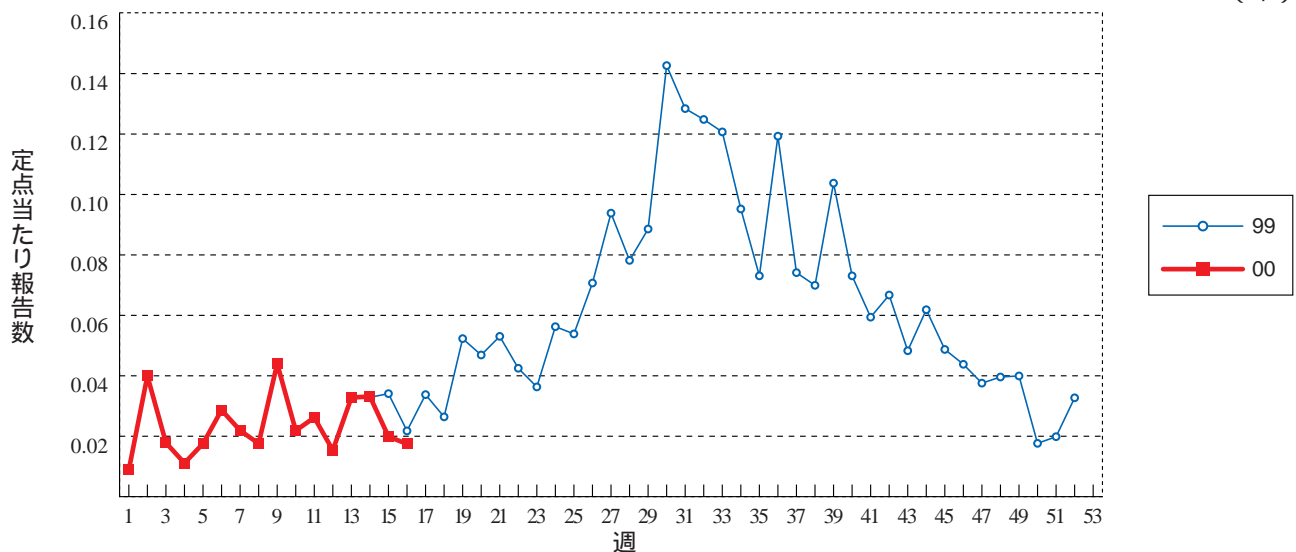
細菌性髄膜炎

(年)



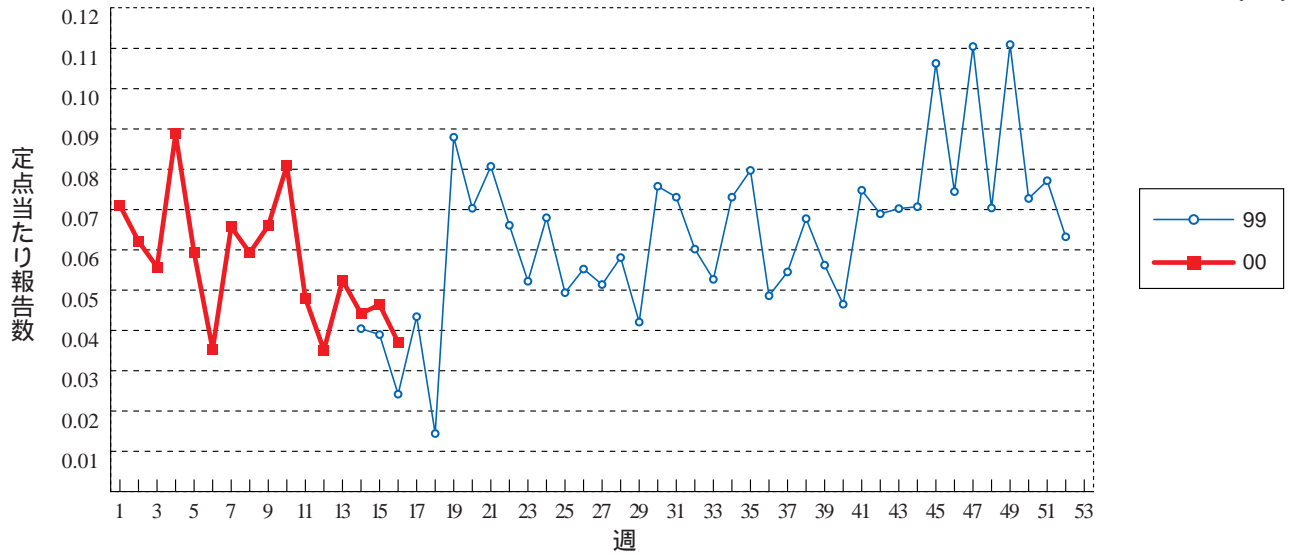
無菌性髄膜炎

(年)



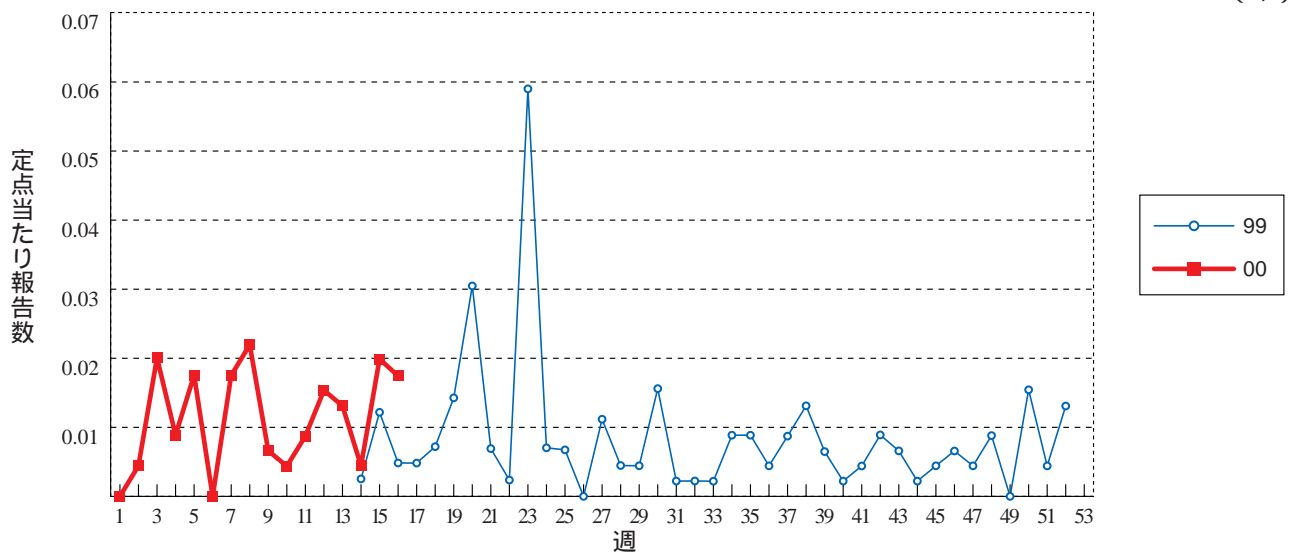
マイコプラズマ肺炎

(年)



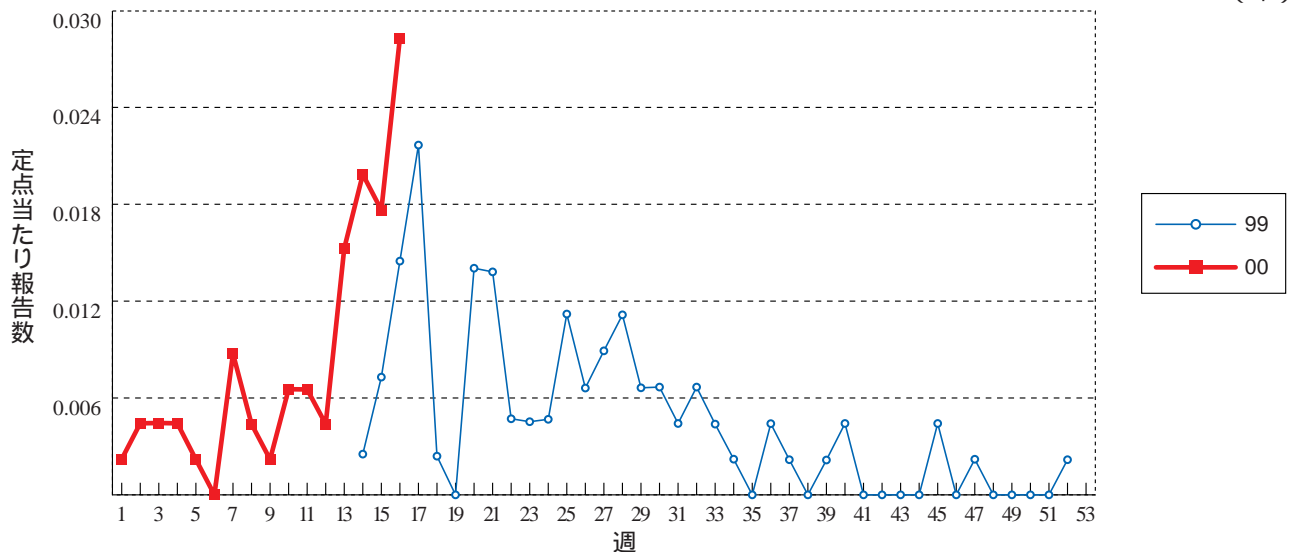
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





## 16週のデータ

注)表中の報告数は4月28日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年16週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	11	18	259	7	38	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	1	1	-	1	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	54	1	7	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	19	1	4	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	20	1	3	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	9	1	1	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	25	-	4	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1	5	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	2	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	1	1	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年16週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	18	226	3	107	-	3	-	-	-	4	-	-	10	334
北海道	-	-	-	-	-	12	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
宮城県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	8	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
東京都	-	-	-	-	4	21	1	33	-	-	-	-	-	1	-	-	1	39
神奈川県	-	-	-	-	-	18	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
静岡県	-	-	-	-	-	6	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	9	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
三重県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	1	8	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
大阪府	-	-	-	-	4	17	-	20	-	-	-	-	-	1	-	-	2	33
兵庫県	-	-	-	-	-	9	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	3	37
奈良県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
和歌山県	-	-	-	-	-	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	3	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14
広島県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
山口県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
香川県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
高知県	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
福岡県	-	-	-	-	1	33	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
佐賀県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
沖縄県	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年16週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	31	-	16	6	188	-	1	4	31	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	1	-	3	1	11	-	-	-	4	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	2	1	13	-	-	1	2	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	69	-	1	1	6	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	13	-	-	-	6	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	5	-	-	1	2	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9	-	-	-	2	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	5	-	-	1	5	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年16週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	8	-	-	-	-	2	59	-	2	-	-	-	-	-	-	4	231
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	40
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	42
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
広島県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	1	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年16週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	13	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	3	44	-	-	3	51
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
東京都	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	23
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1



第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年16週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	331	0.07	146	0.05	3901	1.30	20634	6.90	5678	1.90	526	0.18	798	0.27	2496	0.83	102	0.03
北海道	14	0.06	2	0.01	219	1.51	415	2.86	163	1.12	4	0.03	59	0.41	102	0.70	1	0.01
青森県	13	0.20	4	0.10	25	0.61	112	2.73	59	1.44	4	0.10	25	0.61	19	0.46	-	-
岩手県	1	0.02	-	-	33	0.87	148	3.89	52	1.37	-	-	8	0.21	23	0.61	1	0.03
宮城県	48	0.49	1	0.02	85	1.44	418	7.08	109	1.85	-	-	51	0.86	55	0.93	8	0.14
秋田県	1	0.02	-	-	72	2.06	276	7.89	43	1.23	4	0.11	2	0.06	28	0.80	1	0.03
山形県	10	0.22	-	-	65	2.24	310	10.69	55	1.90	-	-	22	0.76	32	1.10	1	0.03
福島県	-	-	-	-	40	0.83	331	6.90	77	1.60	1	0.02	29	0.60	43	0.90	6	0.13
茨城県	3	0.03	-	-	95	1.32	366	5.08	113	1.57	2	0.03	18	0.25	46	0.64	1	0.01
栃木県	2	0.03	-	-	91	2.02	293	6.51	73	1.62	1	0.02	2	0.04	45	1.00	-	-
群馬県	3	0.03	-	-	159	2.56	341	5.50	121	1.95	7	0.11	9	0.15	47	0.76	1	0.02
埼玉県	11	0.04	7	0.04	287	1.79	1309	8.18	306	1.91	10	0.06	41	0.26	151	0.94	4	0.03
千葉県	9	0.04	4	0.03	290	2.16	888	6.63	353	2.63	7	0.05	61	0.46	121	0.90	4	0.03
東京都	6	0.03	1	0.01	116	0.82	772	5.44	180	1.27	20	0.14	37	0.26	74	0.52	2	0.01
神奈川県	19	0.06	26	0.13	259	1.26	1392	6.76	363	1.76	8	0.04	108	0.52	179	0.87	1	0.00
新潟県	3	0.03	-	-	160	2.67	687	11.45	103	1.72	-	-	53	0.88	44	0.73	1	0.02
富山県	2	0.04	-	-	44	1.52	356	12.28	63	2.17	-	-	1	0.03	11	0.38	3	0.10
石川県	2	0.04	-	-	43	1.48	328	11.31	90	3.10	-	-	1	0.03	26	0.90	-	-
福井県	-	-	1	0.05	53	2.41	313	14.23	51	2.32	-	-	2	0.09	25	1.14	-	-
山梨県	7	0.17	-	-	32	1.28	99	3.96	32	1.28	-	-	2	0.08	8	0.32	-	-
長野県	8	0.10	6	0.12	74	1.45	439	8.61	63	1.24	-	-	34	0.67	42	0.82	-	-
岐阜県	22	0.26	1	0.02	69	1.30	229	4.32	61	1.15	-	-	3	0.06	26	0.49	2	0.04
静岡県	4	0.03	1	0.01	92	1.07	679	7.90	275	3.20	5	0.06	16	0.19	88	1.02	3	0.03
愛知県	32	0.17	16	0.09	201	1.10	985	5.41	331	1.82	13	0.07	44	0.24	163	0.90	3	0.02
三重県	3	0.04	4	0.09	45	1.00	507	11.27	127	2.82	1	0.02	2	0.04	46	1.02	2	0.04
滋賀県	2	0.04	-	-	37	1.19	138	4.45	55	1.77	1	0.03	2	0.06	13	0.42	1	0.03
京都府	15	0.12	-	-	41	0.54	575	7.57	112	1.47	3	0.04	7	0.09	44	0.58	1	0.01
大阪府	8	0.03	7	0.04	146	0.77	894	4.73	289	1.53	65	0.34	24	0.13	149	0.79	5	0.03
兵庫県	4	0.02	19	0.15	98	0.77	1118	8.73	307	2.40	15	0.12	30	0.23	146	1.14	5	0.04
奈良県	2	0.04	-	-	28	0.80	226	6.46	57	1.63	28	0.80	3	0.09	28	0.80	1	0.03
和歌山県	1	0.02	1	0.03	31	0.97	157	4.91	60	1.88	-	-	5	0.16	25	0.78	4	0.13
鳥取県	-	-	4	0.21	94	4.95	344	18.11	44	2.32	-	-	3	0.16	32	1.68	3	0.16
島根県	9	0.27	-	-	11	0.48	151	6.57	33	1.43	-	-	2	0.09	15	0.65	5	0.22
岡山県	2	0.03	3	0.06	46	0.96	426	8.88	119	2.48	2	0.04	12	0.25	48	1.00	6	0.13
広島県	1	0.01	7	0.09	72	0.96	618	8.24	106	1.41	7	0.09	5	0.07	47	0.63	-	-
山口県	-	-	6	0.12	71	1.45	466	9.51	128	2.61	-	-	1	0.02	56	1.14	3	0.06
徳島県	4	0.11	3	0.13	12	0.52	181	7.87	55	2.39	1	0.04	2	0.09	29	1.26	1	0.04
香川県	1	0.02	-	-	24	0.75	208	6.50	59	1.84	1	0.03	6	0.19	39	1.22	-	-
愛媛県	-	-	-	-	54	1.38	510	13.08	85	2.18	1	0.03	-	-	43	1.10	1	0.03
高知県	2	0.04	2	0.06	50	1.61	236	7.61	28	0.90	2	0.06	9	0.29	22	0.71	1	0.03
福岡県	3	0.02	1	0.01	44	0.56	353	4.47	109	1.38	23	0.29	6	0.08	40	0.51	1	0.01
佐賀県	-	-	-	-	23	1.00	166	7.22	80	3.48	17	0.74	4	0.17	49	2.13	-	-
長崎県	-	-	-	-	25	0.57	178	4.05	100	2.27	16	0.36	4	0.09	35	0.80	2	0.05
熊本県	7	0.09	3	0.06	39	0.80	307	6.27	140	2.86	179	3.65	9	0.18	44	0.90	4	0.08
大分県	-	-	4	0.11	36	1.00	378	10.50	115	3.19	2	0.06	18	0.50	45	1.25	5	0.14
宮崎県	4	0.07	2	0.05	164	4.43	491	13.27	88	2.38	1	0.03	2	0.05	44	1.19	3	0.08
鹿児島県	32	0.33	2	0.03	69	1.15	451	7.52	163	2.72	58	0.97	7	0.12	47	0.78	4	0.07
沖縄県	11	0.19	8	0.24	37	1.09	69	2.03	83	2.44	17	0.50	7	0.21	12	0.35	1	0.03

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年16週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	94	0.03	231	0.08	753	0.25	1719	0.57	27	0.04	635	1.01	2	0.00	8	0.02	8	0.02
北海道	2	0.01	1	0.01	9	0.06	61	0.42	1	0.03	17	0.59	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	3	0.07	2	0.05	19	0.46	-	-	12	1.09	-	-	-	-	-	-
岩手県	1	0.03	20	0.53	37	0.97	9	0.24	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	2	0.03	3	0.05	8	0.14	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	2	0.06	-	-	11	0.31	-	-	2	0.29	-	-	1	0.14	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	7	0.24	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	1	0.02	2	0.04	12	0.25	24	0.50	-	-	15	1.25	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	2	0.03	30	0.42	16	0.22	-	-	51	3.19	-	-	-	-	-	-
栃木県	2	0.04	1	0.02	33	0.73	7	0.16	-	-	21	1.75	-	-	2	0.33	-	-
群馬県	-	-	4	0.06	-	-	70	1.13	1	0.07	17	1.21	-	-	-	-	-	-
埼玉県	2	0.01	19	0.12	27	0.17	126	0.79	-	-	45	1.25	-	-	-	-	-	-
千葉県	18	0.13	2	0.01	106	0.79	71	0.53	3	0.09	30	0.86	-	-	-	-	-	-
東京都	9	0.06	17	0.12	15	0.11	54	0.38	-	-	22	1.57	-	-	1	0.04	-	-
神奈川県	7	0.03	12	0.06	16	0.08	149	0.72	-	-	59	1.40	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	2	0.03	-	-	27	0.45	-	-	1	0.11	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	2	0.07	2	0.07	7	0.24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	3	0.10	-	-	4	0.57	1	0.20	2	0.40	-	-
福井県	-	-	1	0.05	-	-	3	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	1	0.04	-	-	2	0.08	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
長野県	2	0.04	1	0.02	-	-	20	0.39	-	-	10	1.00	-	-	-	-	-	-
岐阜県	3	0.06	4	0.08	34	0.64	27	0.51	2	0.18	2	0.18	1	0.20	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	3	0.03	11	0.13	124	1.44	-	-	8	0.38	-	-	-	-	1	0.11
愛知県	4	0.02	15	0.08	9	0.05	100	0.55	2	0.06	21	0.60	-	-	-	-	-	-
三重県	2	0.04	1	0.02	2	0.04	51	1.13	-	-	6	0.50	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	4	0.13	2	0.06	22	0.71	7	0.23	-	-	22	3.14	-	-	-	-	-	-
京都府	2	0.03	1	0.01	5	0.07	26	0.34	1	0.06	9	0.50	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	26	0.14	191	1.01	63	0.33	2	0.04	39	0.75	-	-	-	-	-	-
兵庫県	2	0.02	9	0.07	56	0.44	111	0.87	1	0.03	30	0.86	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.03	-	-	18	0.51	8	0.23	2	0.22	7	0.78	-	-	-	-	2	0.33
和歌山県	2	0.06	-	-	50	1.56	15	0.47	1	0.25	4	1.00	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	-	-	-	-	7	0.37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	2	0.09	2	0.09	10	0.43	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	9	0.19	13	0.27	27	0.56	-	-	14	1.27	-	-	-	-	-	-
広島県	3	0.04	2	0.03	2	0.03	82	1.09	2	0.10	25	1.25	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	1	0.02	-	-	83	1.69	-	-	12	1.33	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	3	0.13	3	0.13	3	0.13	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	25	0.78	16	0.50	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	0.03	15	0.38	1	0.14	11	1.57	-	-	-	-	-	-
高知県	2	0.06	2	0.06	13	0.42	26	0.84	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	2	0.03	-	-	32	0.41	-	-	16	0.89	-	-	-	-	2	0.13
佐賀県	-	-	6	0.26	-	-	19	0.83	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	0.02	3	0.07	-	-	26	0.59	6	0.75	19	2.38	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	20	0.41	2	0.04	54	1.10	-	-	8	0.89	-	-	-	-	1	0.07
大分県	-	-	13	0.36	1	0.03	13	0.36	1	0.20	14	2.80	-	-	1	0.11	-	-
宮崎県	18	0.49	3	0.08	-	-	57	1.54	-	-	13	3.25	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	1	0.02	4	0.07	1	0.02	20	0.33	-	-	7	1.17	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	6	0.18	-	-	3	0.09	-	-	19	1.90	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年16週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	17	0.04	8	0.02	13	0.03
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-
宮城県	6	0.50	2	0.17	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	3	0.27
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	0.08
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	1	0.17	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	0.13
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	8	0.73
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	-	-
広島県	1	0.05	-	-	-	-
山口県	1	0.11	6	0.67	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.17	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	2	0.29	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第16号 平成12年5月12日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生省保健医療局結核感染症課  
 厚生省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>  
<http://www.mhw.go.jp/>  
 <厚生省>  
<http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/>  
 <成田空港検疫所>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。